

大浜学園だより

平成30年1月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

地域の皆さんが、園・学校を支える

明けましておめでとうございます。

本年も大浜学園の活動への御理解・御協力をお願いします。

お蔭様で大浜学園の活動も本年度で6年目を迎えることができました。その間、大浜中学校区をはじめとしてたくさんの皆さんにお世話になりました。

大浜学園の活動は、夏休み子ども教室、放課後子ども教室など、多くの活動を行っていますが、その中心は、各園・学校と地域の皆さんをつなぎ、読み聞かせ、花壇の世話等のボランティア活動をしていただくことです。

右の写真は、大浜中の中庭の木々が長い間放置されていたために枝が生い茂っておりまして。そこで、地域の皆さんがボランティアで剪定をしてくださいました。中に剪定に詳しい方がいてプロの植木屋さんに負けない仕上がりになりました。金額に直せば、数十万円掛かってもおかしくないものをボランティアでしていただきました。

このように園や学校が必要とする作業や授業の支援がある時、大浜学園のコーディネーターに連絡が入ります。そうするとコーディネーターは、やて頂けそうな方にお声を掛けて、ボランティアをお願いします。今後も、コーディネーターから地域の皆さんにボランティアをお願いすることがあると思います。ぜひ、御協力をお願いします。



そして何よりも、
幸せになってほしいからです。

ほめたり、叱ったりするのは、
子どもに悪い行いをやめさせ、
正しい行いを
身につけさせるため。



いつもよいたくさん跳んでいます

子ども教室トランポリン

し〜すぽ祭りの一貫として、トランポリン、さらにお菓子もらって読み聞かせしてもらいました。

一家和楽の秘訣「悪人ばかりだとケンカにならない」

高森顕徹著『光に向かって100の花束』

ある所に、内輪ゲンカの絶えないA家と、平和そのもののB家とが隣接していた。

ケンカの絶えないA家の主人は、隣はどうして仲よくやっているのか不思議でたまらず、ある日、B家を訪ねて懇願した。

「ご承知のとおり、私の家はケンカが絶えず困っております。お宅はみなさん仲よくやっておられますが、なにか秘訣でもあるのでしょうか。一家和楽の方法があったら、どうか教えていただきたい。」

「それはそれは、別にこれといった秘訣などございません。ただお宅さまは、善人さまばかりのお集まりだからでありましょう。私の家は悪人ばかりがそろっていますので、ケンカにはならないのです。ただそれだけのことです。」

てっきり皮肉られているのだと、A家の主人は激怒して、「そんなばかな」と、言おうとしたとき、B家の奥で大きな音がした。

どうも皿か、お茶碗でも割ったようである。「お母さん、申し訳ありませんでした。私が足元を確かめずにおりましたので、大事なお茶碗をこわしてしまいました。私が悪うございました。お許してください。」と心から詫びている、お嫁さんの声がある。

「いやいや、おまえが悪かったのではありません。先ほどから始末しようしようと思いながら横着して、そんなところに置いた私が悪かったのです。すまんことをいたしました。」と、続いて姑さんの声が聞こえてきた。

「なるほど、この家の人たちは、みんな悪人ばかりだ。ケンカにならぬ理由がわかった。」

A家の主人は感心して帰ったという。



子どもの居場所づくり、地域の方との交流など、有意義な活動です。



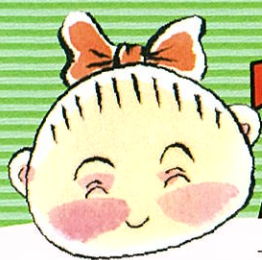
千浜小学校
放課後子ども教室



大坂小学校
ギャラリー展示



四季折々の作品を展示し、子どもたちに喜ばれています。



大浜学園だより

ボランティア特集号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

園・学校と一緒に支えましょう

大浜学園の一番の活動は、園や学校と地域を結びつけることです。園や学校で、さつまいもの植付けをしたいのでお手伝いをしてくれる地域の方を探して欲しいとコーディネーターに連絡が入ります。コーディネーターは、地域の人材に詳しい方に相談しながら活動に相応しい方を学校に紹介します。

本号では、各園や学校で活躍してくださっているボランティアの人たち(ほんの一部)を紹介します。と同時に、紹介した皆さんと一緒に園や学校を支えていただける方を募りたいと思います。例えば、昼休みに図書館で本の貸出をしたり、放課後子ども教室の見守り活動をしたりしていただければ幸いです。さらに、逆に「こんなことなら園や学校に役立つことができそうだよ」等のお声をいただければ幸いです。ぜひ、コーディネーターの赤堀敬子(090-6083-2284)まで御連絡をお願いします。



放課後子ども教室(千浜小学校)

大浜中学校

◆掛川市教育委員会指定ICT研究発表会で来客者を多数迎える準備として、校舎内のペンキ塗り作業のボランティアを募ったところ、夏休みに地域の有志の方5人が、塗装のほげた箇所をペンキで塗り、修繕してくれました。



ペンキ塗り

◆太田和良さんが、毎月18日を「癒やしの日」と題して、茶香炉を楽しむ会を開催してくれています。芸術作品とお茶の香りで、とても癒やされるひとときになっています。



癒やしの日
茶香炉を楽しむ会

陸浜幼稚園



さつまいものつるさし



「よいしょ!」の掛け声に合わせて、お餅つき



人ひとりに丁寧に作り方を教えてくれ



しめ縄、出来ました

大坂幼稚園

◆毎年、じゃがいもとさつまいもの畑作りや収穫には、旧コーディネーター加藤さんとJAの方がお手伝いに来てくれます。ふかし芋や大学芋、豚汁にいただきました。自分たちで収穫した物は格別なようで、喜んでおかわりました。

◆園では、月1回読み聞かせグループの「わたぼうし」さんが来てくれます。時には誕生会で、大型絵本や紙芝居、パワーポイントを使つての絵本の読み聞かせ等をしてくれます。



さつまいも栽培



わたぼうしさんの読み聞かせ

千浜小学校

千浜小といえば、花壇作りが有名です。フラワーブラボーコンクールなどで多くの賞を受賞しています。花壇作りに欠かせないのが、「千浜西成寿会」の方々のお手伝いです。千浜小伝統の花壇は、ボランティアの皆さんに支えられてできています。始めに、花の種を育苗箱に植えます。次に、苗場に仮植します。仮植する時の苗は、3cmほどの大きさです。苗場の小さい穴の中に、苗を1本ずつ植えていきます。1000本以上の苗を植えていくのは、根気のいる作業ですが、とても丁寧に作業をしていただきます。



「千浜西成寿会」のみなさん

各園や学校で活躍するボランティア

千浜保育園

◆坂里地区の太田さんに来ていただき、陶芸をやりました。陶芸作りが初めての子どもたちは、粘土の感触を楽しんだり、思い思いの絵を描いたりしていました。太田さんの作品をみせてもらい参考にして完成させました。
◆地域の方3人来てくださり、餅つきをしました。千本つきや力強いもちつきの様子を間近で見ることができました。



5才児と一緒につかせてもらい、もちつきを楽しみました。

大坂小学校

◆「大坂小学校の子どもたちが読書好きになってほしい」と、図書館整備や読み聞かせを地域や保護者の方にボランティア活動として御支援いただいています。図書館の蔵書の点検や、各教室で愉快的絵本や心に響く本などの読み聞かせをお願いしています。



◆大坂小学校の子どもたちの登下校を朝夕に見守ってくださっています。不審者の情報が増えている中、子どもたちは通学路で緑色のベストのおじさん、おばさんに会うと安心します。「おはようございます」「さようなら」元気なあいさつとともに「今日も頑張ってるよ」「一日頑張ったね」と、励ましてもらっています。

大坂保育園

◆ピーター・パンさんによる読み聞かせは、

もう何十年と続いている取り組みです。たくさんの絵本を読んで、本の素晴らしい世界を子ども達に伝えてくださいます。

◆季節の野菜作りをお手伝いしてくれる富田さんご夫婦は畑の管理だけでなく、保育園の行事にも足を運んでくださいます。クリスマス会で子ども達にプレゼントを渡し、節分には怖い鬼をやっつけた子ども達に優しく声をかけ、お菓子をまいてくださいます。

子ども達にとってとても温かいおじいちゃん、おばあちゃんです。



千浜幼稚園

◆藤原八重子さんとミーナの会の皆さんが来園し、年長児が芋切り干し作りを体験してもらいました。熱々の蒸かしたてのお芋の皮を割り箸を使って手早くむきます。皮をむくと黄色のねっとりしたお芋が顔を出し、思わず「おいしそ〜」と子どもたち。道具を使ってスライスし、ざるの上に一枚一枚広げて干すと、芋切り干しのできあがり！次の日からおやつに毎日いただきました。



◆正月のしめ縄作り。葉をなうところから体験させてもらいました。簡単そうに見えてとても難しい縄作り。一緒に作ったお母さんたちも初めてのことで悪戦苦闘！それでもボランティアさんに教えてもらいながら、それぞれ思いのこもったしめ縄ができました。



テレビで話題になっている『池の水を全部ぬく』を、できたらやりたいと思います。水をぬくことができる池を探しています。お心当たりのある方は、羽田 (090-6769-8639) まで連絡をください。